太田垣康男
TOA スタジオ・トア
color by umegrafix
監修:高橋良輔
第2話「二重太陽 ②」
Get truth
太陽の牙
ダグラム
©SUNRISE

ゴオオオオ

ズズ…

ズズ…
ズ…

ハア
ハア
ハア

バキッ

ズン
ズン
ズン

ズン

ザド
アアア

ズン
ズン

こちらクリン！
ロッキー、
敵CBアーマーは
全て撃破した。
ダグラムは
無傷で済んだよ。
よくやったクリン！
敵の援軍が来る前に
撤収する！
合流地点に戻れ！
了解。

キッ
カキッ

カン
キン

パン

パン
パン

ああっ
あああっ！

捕虜は
取らない…
武器を捨てれば
攻撃もしないから
下がれ……
グゥゥ…

あああっ

!!
うう……

あ、ああ…
隊長……
トラビス……
死なないで
トラビス…!!

あぁぁあ
あああ!!!

ようクリン！
発砲音が聞こえたぞ！
大丈夫か？
心配ないよロッキー。
敵のパイロットが
残ってたんだ……
もう排除した……
コクピットを狙って
拳銃で撃たれたよ。
…そりゃあ
嫌われたな。

ああ……そうだね。
人から恨まれる事にも
随分と慣れた。

ドナン・カシム議長は
会見でデロイアの発展のため、
地球連邦は更なる資金援助と
技術支援を惜しまないと表明。
デロイア自治州の
一部に残る過激な
分離独立派に屈しない
姿勢を強調しました。

2410
2149
3163
1430
ワーム・ホール・ポート
経由デロイア行き
シャトル368便に
搭乗予定のお客様。
出国ゲートから
西28番搭乗口へ
お集まり下さい。

４か月前
—地球—

メドール州国際空港

BREAKING
8th state DELOIRES
本日、地球連邦評議会
ドナン・カシム議長は
デロイアを８番目の
自治州として正式に
承認する事を発表。
初代州知事となる
フォン・シュタイン
大佐と固い握手を
交わしました。

あらあら。
奇遇じゃない？
クリン・カシムくん、
またデロイアまで
一人旅？
私もデロイアに
観光なの。
丁度いいから
アテンドしてよ。

…デイジー。

なによ！
渡航費用は私が
善意で立て替えて
あげたのよ。
あなたに
拒否権は
ないから！

……だね、
君には昔から
敵わないよ
デイジー。

ねえ、クリン！
あなた変わったわ。
先月突然デロイアに
一人で行った時、
向こうで何かあった？
何って…
父の仕事を
見た、
それだけ。

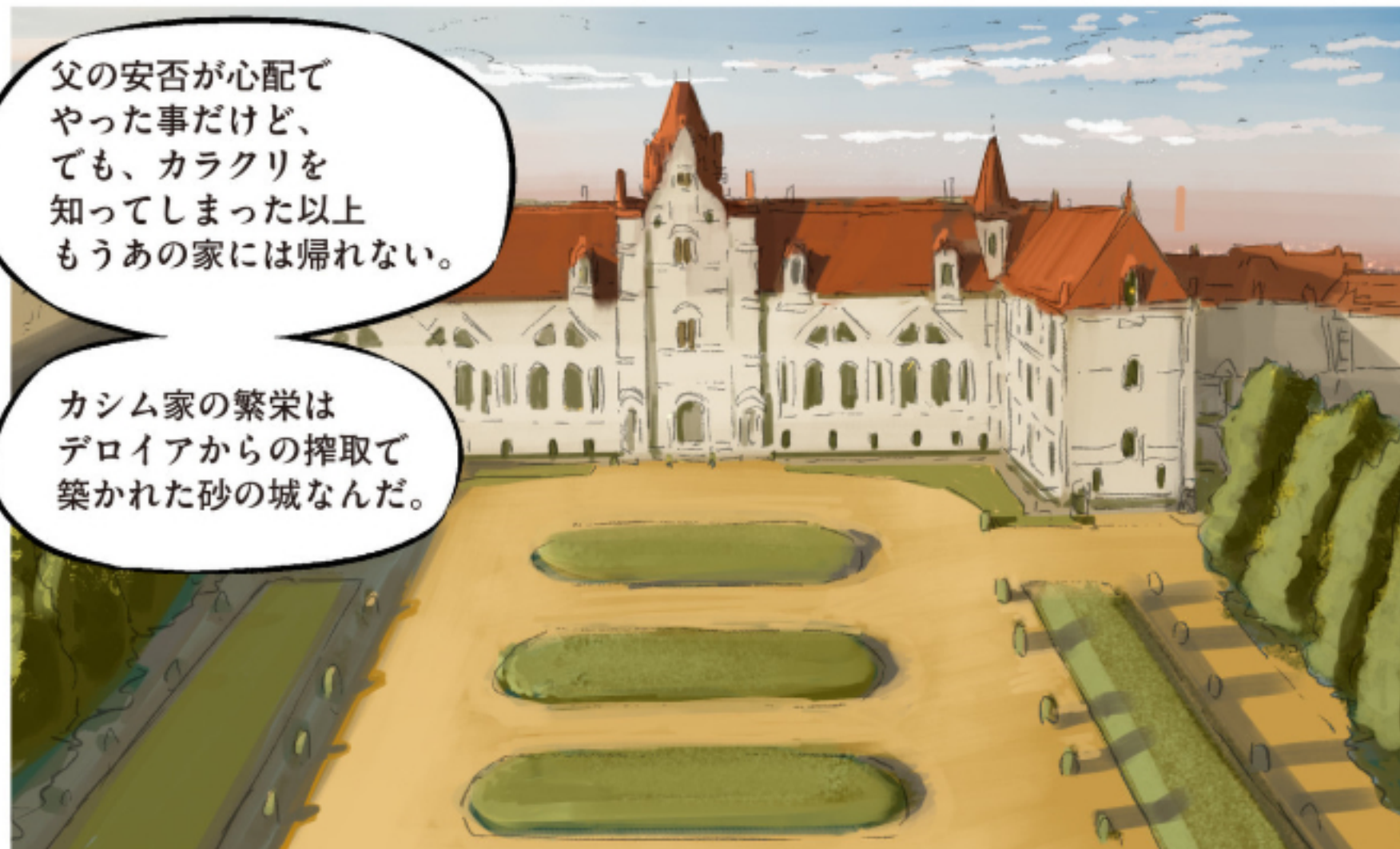
クリンのお父様…
ドナン・カシム氏が
本当はデロイアで
拘束されてたって噂
ホントなの？
デロイアは実は
内戦状態だって…

確かに……
地球じゃちっとも
報道されないね。

デロイアの人々は
独立を求めてるけど、
地球連邦は利権を
失うのが嫌で〝自治州〟って
傀儡政権を作ったんだ。
そのシナリオを
書いたのが僕の父…
拘束事件も独立派を
炙り出し粛清する為の
自作自演さ。

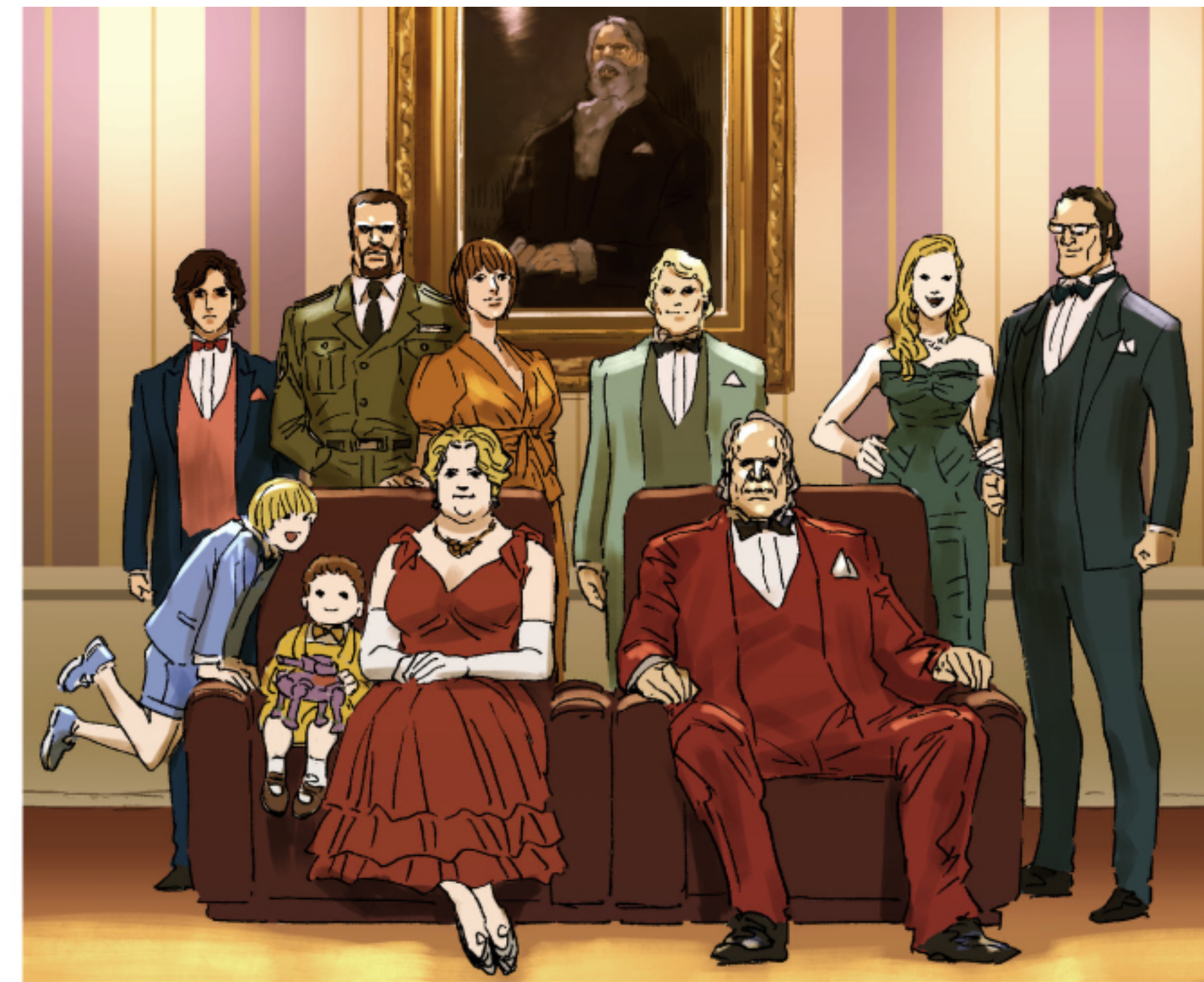
え？何それ？
意味わかんない！
なんでクリンが
知ってるのよ？

父の救出作戦に
兵士として
参加したから…

Star of Grace
DELOIRES
は？軍事作戦に？
クリンが？なんで⁇
益々意味わかんない！
だね。
父にも叱られて
家に連れ戻された。

父の安否が心配で
やった事だけど、
でも、カラクリを
知ってしまった以上
もうあの家には帰れない。
カシム家の繁栄は
デロイアからの搾取で
築かれた砂の城なんだ。

デイジー、君ならどうする？
何の疑問も持たず
このまま敷かれたレールに乗って
カシム家の跡継ぎになるかい？
それとも、デロイアで見た
残酷な出来事も全て忘れ、
心を閉ざして砂の城を出て
一生を隠れて暮らす？
それも嫌なら…僕はどうすれば良い？

クリン……

ピ!!

父は地球人百億の為と言い
２人の兄も父の権力に依存し、
デロイアの支配で大儲けしてる。
……デロイアでは今も
独立派への虐殺が続いてるのに
……父の命令の下で……

クリン・カシムから
ご当主オーセル氏に
心より感謝すると
伝言を頼む。
デイジーに
手荒な真似は
しない様に…

クリン！
承知
しました。
はい。

えっ？
ブー！
ちょっと！
何よ！
出国不可って
どうゆう事!?

地球屈指の大財閥
オーセル家のご令嬢が
両親の許可もなく
地球を離れるなんて無理さ。
ここまで来れたのは
お父上の温情だ。
見送りありがとう
デイジー。
元気でね。

はっ。
ちょっと待って！
一人で行くなんて
駄目よクリン！
出国くらい
お金を積めば
直ぐに……

あなたは地球人で……
あのドナン・カシムの
息子なのよ！
デロイアに行ったって
誰もあなたを
受け入れたりしない！
居場所なんて無いわ！

クリン!!

W-28
本当言うとね
一人で旅立つのは
ちょっと心細かったんだ。
ありがとう
デイジー、
僕の事は忘れて。

待ってクリン！
あなたデロイアで
何をするつもり!?
戻って来て！クリン！
私の傍に居て！

……旦那様。
メドール空港から連絡があり、
先程クリン様がシャトルにて
地球を旅立たれた模様です。
ご指示のとおり
デロイア北極ポートへも
入国を許可するよう通達を。
……それで良い。
これがあいつへ送る
父親から最後の餞だ。
は……
…馬鹿な奴だ
クリン……
血を分けた家族に
銃を向け
戦う道を選ぶとは……

■次回につづく。